

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	提携講座〔ボランティア概論〕(Cooperated course in Practice of(Introduction to volunteer))		
ナンバリングコード	A20211	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A032101	クラス名	-
担当教員名	高見 大介		
履修上の注意、 履修条件	ボランティアについて深く考え、地域社会の問題・課題を自分の事とする心構えが必要です。 大分県に興味を持ち地域課題に主体的に取り組み、自分自身が出来る事を考える。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	WAVOC発大学生のためのボランティア入門講座 著者 西尾雄志 発行 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター ボランティアという人間関係 著者 原田隆司 発行 世界思想社		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧め、提携講座(グローバルコミュニケーション演習)など		

○基本情報		
授業の目的	ボランティア活動は学生の皆さんや社会にとって、どのような意義や目的があるでしょうか。本科目では、学生ボランティア活動の事例や歴史などを学ぶことを通じて、主体的な地域社会への参画ができるようになることを目的とし、自身の存在意義を感じると共に地域社会でのやりがいを見出すことができるにします。	
授業の概要	本科目は日本財団学生ボランティアセンターとの提携により開講する提携講座です。これまでのボランティア活動について学び、社会の問題・課題を自分事にし、これからのボランティア活動に主体的に取り組む事が出来るように学びます。また、これから身に着けるであろう様々な専門知識を社会的に活かすマインドを養い、前向きに主体的に社会に参画できるように授業を進めます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①地域活動に主体的に参加し、自らの活動の意義を見出すことができる ②地域の課題と自らの持てる力を直結し、積極的に活動を行うことができる		30点	20点
【知識・理解】	①ボランティア活動を専門的に理解する ②地域社会の問題・課題を理解する		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①レポートを作成し、自分が理解した事の言語化ができる ②地元住民の方々の話を聞き、自分の意見を持つことができる		20点	
【思考・判断・創造】	リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→活動)を獲得し、そのスキルを活用できる		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回の授業の終わりにレポートを提出してもらいます。どれだけ講義の内容を理解し、自分の意見が持てたかを重視します。 実際に地域の活動に参加する事を提案します。その中で参加した活動に対するレポートは更に加点します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	提携講座〔ボランティア概論〕（Cooperated course in Practice） 高見 大介	授業コード	A032101
学修内容				
1. オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
2. ボランティアについて① ボランティアとは何かについて概念的に紐解きます。概念的に進化し続けるボランティアを、ボランティア三原則から考えます。また、これまでのあなた自身のボランティアへのイメージを明らかにし、この授業の起点とします				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
3. ボランティアについて②近年多発する災害について ボランティアはいったい何が出来るのか？を事例を基に考えます。阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震・九州北部集中豪雨の事例から考えます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
4. 学生ボランティアについて①日本国内での学生がボランティアに立ち上がった歴史 学生ボランティアの歴史を学びます。セツルメント・ワークキャンプ・ボランティアなど様々な形で社会問題にコミットした学生の事例から現代を考えます。活動の中には課題解決と自己の学びがある事を理解します				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
5. 学生ボランティアについて②学生ボランティアが与えるインパクト ボランティアと学習の関係性について。学習・課題解決を両立するために学生ボランティアがどの様に活躍するのかを考えます。学生がボランティアをする理由について（学生が出来る事・学生しか出来ない事・学生が苦手な事）				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
6. 学生ボランティアについて③学生ボランティアの強み 学生ボランティアの持つ強み・弱みについて考えます。強みと弱みを深く理解する事が意味のある活動への近道である事を知ります。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
7. 社会とボランティアの関係性①行政・企業・市民それぞれのsector 様々な活動を比較し、検討します。行政・企業等の様々な団体の活動から社会と活動の関係性とそれぞれの立ち位置を考えます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
8. ボランティアの可能性① マイクロクレジット・ムハマド、ユヌスのやり方から自分たちの活動を考えます。（キーワード：グラミン銀行）				
予習			約2時間	
復習			約2時間	

○授業計画	科 目 名 担当教員	提携講座〔ボランティア概論〕（Cooperated course in Practice） 高見 大介	授業コード	A032101
学修内容				
9. ボランティアの可能性②				
ボランティアの留意点、公平性と流行。社会問題を経済的、文化的の二つの側面から見つめてボランティアの可能性を探ります。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
10. 大分県の社会問題①子ども支援				
私たちの暮らす大分県内の社会問題について考えます。これまでの県内のボランティア活動を学びます。 子どもを取り巻く課題に対して取り組まれている事例（子ども食堂）				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
11. 大分県の社会問題②災害・防災				
現在の大分県の社会問題を探し出します。また、自分たちに何が出来るかを考えます。大分県内で起きた災害に対する動きを見ていきます。準備期（防災・減災）発災直後（避難）救命期（行政の動き）復興期（ボランティア・NPO）のサイクルを理解する				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
12. ボランティアに参加するには①様々なボランティアの紹介				
具体的な行動について考えます。学生がすぐに参加できる活動、県内ボランティア活動を模索します。社会福祉協議会・NPO・NGOの活動紹介（各種団体からのメッセージ等を見ます）				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
13. ボランティアに参加するには②ワークキャンプについて				
具体的な行動について考えます。学生の強みが活かせ、すぐに参加できる活動、ワークキャンプについて考えます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
14. 大学生ボランティアリーダーのためのマネジメント論				
広報戦略・リーダー像・動員の方法・メンバーとの関係性を学び、今後の大学生生活にボランティアの要素を入れ込みます。				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
15. まとめ（ふりかえり）				
なぜ、大学生がボランティアなのか？大学生の使命感と行動力について考え、レポートにまとめます。また将来的に地域社会に参画する具体的な方法を言語化します				
予習			約2時間	
復習			約2時間	
16.				
予習			約2時間	
復習			約2時間	